

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、診療の記録や通常の診療で行った検査等の結果を含む患者さんの診療録（カルテ）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】肺切除術後の呼吸器合併症および術後成績に関する後方視的検討

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】杉山隆（病院長）

【研究責任者】大谷真二 心臓血管・呼吸器外科 准教授

【研究の目的】

肺癌を含む様々な呼吸器疾患において局所治療としての肺切除の有効性は確立されており、日本呼吸器外科学会は肺切除の危険性を評価する指針としての基準を示しています。しかし、実際にはこれらの指標により危険性が比較的少ないとされても、肺切除術後に呼吸機能低下や肺炎、肺水腫などの呼吸器合併症を発症することがあります。そこで、過去に当院で肺切除術が行われた患者さんのカルテの情報を利用し、肺切除後の合併症や予後の研究を行うことといたしました。この研究は肺切除による危険性と有用性の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象）2010年7月～2022年7月までに当院にて肺切除術が行われた患者さん
（利用するカルテ情報）性別、年齢、既往歴/併存疾患、身体所見等の基本情報に加え、肺切除の原因となった腫瘍や手術の情報、術前術後の血液検査・画像検査・呼吸機能等のデータ、治療や術後の状況（生存情報や酸素療法の有無）、等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除い

たします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜情報の管理責任者＞ 愛媛大学病院 心臓血管呼吸器外科 大谷真二

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院心臓血管・呼吸器外科 大谷真二

791-0295 愛媛県東温市志津川

連絡先 (089-960-5331 平日：9時から17時)